

令和元年度

事業報告並びに決算報告書

公益財団法人 掛川市生涯学習振興公社

## 令和元年度 事業の概要

令和元年度は財団が管理運営している文化会館シオーネ、生涯学習センター、美館ホール、二の丸美術館、ステンドグラス美術館の5施設の指定管理期間が満了を迎えるため、掛川市と財団のあり方について検討を重ねた年でありました。その中で財団として、掛川市が策定した文化振興計画（平成27年2月施行）と財団が策定した目指す姿（平成30年8月改正）に基づき、様々な文化芸術事業を通じて文化振興を図ってまいりました。特に二の丸美術館展覧会「難攻不落の山城 高天神城と江戸の華 横須賀城」展の関連講座「磯田道史講演会－掛川で歴史を語る－」では郷土の災害史や高天神城、横須賀城をテーマに講演を開催し、多くのお客様に掛川の歴史や背景、遺構への関心を高める講座となりました。

公共施設の管理運営受託事業については、5施設の指定管理者として管理運営を行ってきました。

文化会館シオーネは延べ77,894人（昨年度比 $\Delta$ 9,216人）の利用があり、年間の利用料金収入は7,820,320円（昨年度比 $\Delta$ 1,376,530円）でした。生涯学習センターは延べ146,637人（昨年度比 $\Delta$ 10,905人）の利用があり、利用料金収入は23,565,550円（昨年度比 $\Delta$ 1,814,445円）でした。美館ホールは延べ16,766人（昨年度比 $\Delta$ 1,652人）の利用があり、利用料金収入は4,383,930円（昨年度比 $\Delta$ 431,035円）でした。3施設とも新型コロナウイルスの影響で年度末の貸館の予定がキャンセルとなったことに加え、指定管理者の変更に伴い利用者からの前納金を次期指定管理者に譲渡したため利用人数、利用料金収入ともに昨年度を下回りました。

3施設ともに掛川市の文化振興受託事業、財団の自主事業の他、吹奏楽、オーケストラの演奏会をはじめ、ピアノ、ダンス、舞踊など各種団体の練習や発表の場として幅広い利用をいただきました。

ステンドグラス美術館は22,694人（昨年度比 $\Delta$ 4,693人）の入館者があり、入館料は6,720,462円（昨年度比 $\Delta$ 1,478,678円）、グッズの売上手数料収入は1,531,719円（昨年度比 $\Delta$ 22,047円）でした。

二の丸美術館の入館者は23,922人（昨年度比 $\Delta$ 3,847人）、入館料は1,691,860円（昨年度比 $\Delta$ 420,150円）、グッズ売上手数料収入は721,327円（昨年度比 $\Delta$ 211,093円）でした。

両美術館とも新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、2月28日から休館としたため、入館者、入場料、グッズ売上ともに昨年を下回る結果となりました。

ステンドグラス美術館では夜間延長開館の実施や、12月のイルミネーションライトアップ点灯式では、「掛川ひかりのオブジェ展」の開会式を合同にて西側公園で行い、ステンドグラスの美と光と音楽が融合した冬のイベントを盛り上げることができました。今後も掛川城など近隣文化施設と連携し、街中のイベント時にも積極的に参加し誘客を図り、入館者を増やすように努めていきます。

二の丸美術館では拡大鏡の貸し出しや英語版のパンフレットの作成、また「難攻不落の山城 高天神城と江戸の華 横須賀城」では前年度の「掛川城と高知城」展に続いて掛川市の地域資源を再発見し、まちの魅力を再認識できるよう関連事業として両城での現地見学会を実施しアウトリーチを活かした内容の深い展示会となり、美術愛好家だけでなく市民からも高い評価を得ることができま

した。「はんが遊園地」では（一財）地域創造の助成金を活用し、掛川市を含む 5 館で巡回展を行いました。運営費を軽減させるだけでなく他館との連携、協力ができ、子ども連れのお客様など約 4,000 人の来館者がありました。

次に掛川市からの文化芸術受託事業についてです。シオーネロビーコンサート、市役所でのピアノミニコンサートなどを行い、市民へ鑑賞機会を提供するとともに、市内 17 団体の芸術活動に対し助成を行い、芸術団体の文化意識の高揚に努めました。新型コロナウイルス等の影響で 7 団体が公演を自粛したため、助成をすることができなくなりました。

また市内への出前コンサートを小中学校・幼稚園・保育園・幼保園・特別支援学校等 31 箇所で行ったほか、文化協会の協力をいただき生活文化の出前授業として 9 箇所にて行いました。

その他ホール事業においては、「0 歳からのファミリーコンサート」、「南こうせつコンサート」、「シオーネなみなみコンサート」を開催し、市民合唱団 kakegawa シティコーラス（120 人参加）とダンスチーム（45 人参加）には事業への支援を行い、「kakegawa シティコーラスの演奏会」、「ダンス演劇わたげ公演」を開催し多くの来場者がありました。3 月に予定していたシオーネスプリングコンサートは新型コロナウイルス感染予防のため中止といたしました。

自主事業としては 9 事業を実施しました。3 月に収益事業で予定していたシオーネ寄席はコロナ感染予防のため中止としました。公益自主事業では「吉田兄弟×レ・フレールコンサート」、「昇太・たい平二人会」、「松竹大歌舞伎」等を行い多くの来場者に感動を与えることができました。かけがわ文化未来塾では「文学講座」に 78 人、「歌舞伎プレセミナー」に 140 人、「チルドレンシオーネジャズ」に 95 人の参加をいただきました。また特定費用準備資金を活用した「磯田道史講演会ー掛川で歴史を語るー」には 594 人、「ステンド体験講座中学生ロゴマーク制作」には 24 人、寄附金を活用した「ステンド西側公園コンサート」には 181 人の参加をいただきました。

美術館受託事業ステンドグラス体験講座では大須賀中央公民館や原田小学校に出前を行うなどして 163 人の参加をいただき、本物の芸術に触れ、制作体験する事業を行いました。また、二の丸美術館・ステンドグラス美術館両館で 4 回の講座・講演会の他、「写生大会」や「親子感想文コンクール」、「ミュージアムコンサート」、「写真パネル展示」などを行い合計で 2,430 人の参加をいただき、芸術に興味を持っていただく機会を提供しました。

終わりに、令和元年度で文化施設 3 館の指定管理が終了しました。これまで多くの市民の皆様と文化施設の管理業務をとおして知り合い、ご協力をいただけてきました。今後はその繋がりを文化振興事業や美術館事業に活かすとともに、市民の活気あふれる文化活動を支える役目を果たしていきたいと考えております。

令和元年度の終盤から新型コロナウイルスの影響で事業が中止・延期になるなど、計画を変更せざるを得ない状況となり、令和 2 年度のスタートも理想と違ったものになりました。しかし、目指す姿に掲げた使命と戦略をもって、公益財団法人の果たす役割を認識し、文化振興の推進役としての専門性や企画力を備えた組織として、掛川市文化振興計画に沿った多彩な芸術に触れる機会の提供などを実施し、掛川市民が心豊かに生きる力を育むことができるようまちづくりに寄与していく所存です。

貸借対照表  
令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金(公益)	821,086	770,563	50,523
普通預金(公益・法人)	19,742,221	22,252,030	△ 2,509,809
普通預金(学習センター)	601,138	5,159,788	△ 4,558,650
普通預金(ステンド)	272,210	393,059	△ 120,849
普通預金(寄附金)静岡銀行	10,674,630	256,841	10,417,789
普通預金(収益)	14,167,117	13,224,611	942,506
未収金	9,579,946	6,751,710	2,828,236
たな卸資産	2,934,810	2,147,390	787,420
流動資産合計	58,793,158	50,955,992	7,837,166
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
<b>(2) 特定資産</b>			
退職給付引当資産	19,661,241	17,659,475	2,001,766
記念事業積立金	19,176,151	24,247,192	△ 5,071,041
特定資産合計	38,837,392	41,906,667	△ 3,069,275
<b>(3) その他固定資産</b>			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	138,837,392	141,906,667	△ 3,069,275
<b>資産合計</b>	197,630,550	192,862,659	4,767,891
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	23,170,373	19,948,846	3,221,527
未払消費税等	3,293,400	2,375,900	917,500
預り金	1,025,906	2,729,448	△ 1,703,542
仮受金	10,609,767	1,500	10,608,267
未払法人税等	71,000	71,000	0
流動負債合計	38,170,446	25,126,694	13,043,752
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	33,652,932	34,554,100	△ 901,168
固定負債合計	33,652,932	34,554,100	△ 901,168
<b>負債合計</b>	71,823,378	59,680,794	12,142,584
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
受贈投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)			
<b>2. 一般正味財産</b>	25,807,172	33,181,865	△ 7,374,693
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	125,807,172	133,181,865	△ 7,374,693
<b>負債及び正味財産合計</b>	197,630,550	192,862,659	4,767,891

正味財産増減計算書  
平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	12,027	245,019	△ 232,992
基本財産運用益計	12,027	245,019	△ 232,992
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,868	6,418	△ 2,550
特定資産運用益計	3,868	6,418	△ 2,550
<b>事業収益</b>			
施設管理事業計	303,226,107	316,611,501	△ 13,385,394
施設管理運営受託事業収益	260,065,314	266,246,000	△ 6,180,686
利用料収益	42,782,172	49,702,960	△ 6,920,788
手数料等収益	128,391	439,041	△ 310,650
受講料収益	250,230	223,500	26,730
文化催事受託事業計	30,431,858	25,394,899	5,036,959
文化催事受託事業収益	11,283,543	15,400,000	△ 4,116,457
イベント・クラス事業収益	3,757,170	4,769,000	△ 1,011,830
入場料収益	15,202,354	5,225,899	9,976,455
負担金協賛金収益	188,791		188,791
収益事業計	3,281,350	5,169,251	△ 1,887,901
入場料収益		1,866,301	△ 1,866,301
(収) 販売料収益	2,089,355	2,047,145	42,210
自動販売機収益	1,191,995	1,255,805	△ 63,810
<b>事業収益計</b>	336,939,315	347,175,651	△ 10,236,336
受取補助金等			
受取民間助成金	60,000		60,000
受取補助金等計	60,000		60,000
受取寄付金			
受取寄付金	28,000	387,000	△ 359,000
受取寄付金計	28,000	387,000	△ 359,000
<b>雑収益</b>			
受取利息	611	463	148
雑収入	727,921	879,195	△ 151,274
<b>雑収益計</b>	728,532	879,658	△ 151,126
<b>経常収益計</b>	337,771,742	348,693,746	△ 10,922,004
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>			
事業原価	1,030,158	1,806,043	△ 775,885
給料	68,575,697	72,025,424	△ 3,449,727
諸手当	33,559,112	34,419,760	△ 860,648
貸金	8,921,575	7,385,937	1,535,638
職員厚生費	381,246	397,758	△ 16,512
法定福利費	16,034,847	16,131,413	△ 96,566
退職金掛金	1,449,361	1,387,980	61,381
報償費	3,455,510	5,698,482	△ 2,242,972
旅費	566,138	823,797	△ 257,659
消耗品費	9,093,594	7,378,971	1,714,623
食糧費	200,637	231,041	△ 30,404
光熱水費	32,016,788	34,180,399	△ 2,163,611
燃料費	577,276	526,864	50,412
印刷製本費	7,178,119	6,895,953	282,166
修繕費	5,545,116	9,950,257	△ 4,405,141
通信運搬費	2,677,389	2,620,269	57,120
広告料	2,622,182	1,818,445	803,737
手数料	2,874,596	2,760,880	113,716
委託費	114,519,536	109,903,678	4,615,858
貸借料	4,433,025	5,098,450	△ 665,425
使用料	803,150	3,146,980	△ 2,343,830
負担金	319,190	288,708	30,482
租税公課	11,147,118	10,638,618	508,500
保険料	444,550	507,649	△ 63,099
支払助成金	1,296,000	1,452,000	△ 156,000
(事)退職給付引当金繰入額	4,017,436	5,377,734	△ 1,360,298
<b>事業費計</b>	333,739,346	342,853,490	△ 9,114,144

管理費			
役員報酬	2,514,000	5,592,000	△ 3,078,000
給料	3,324,000	3,068,400	255,600
諸手当	1,681,615	1,738,854	△ 57,239
法定福利費	1,029,869	1,411,740	△ 381,871
職員厚生費	25,104	31,238	△ 6,134
退職金掛金	85,979	136,100	△ 50,121
報償費	1,145,000	1,188,000	△ 43,000
旅費		12,376	△ 12,376
消耗品費	10,065	47,314	△ 37,249
食糧費	16,585	9,120	7,465
印刷製本費	11,060	47,185	△ 36,125
通信運搬費	23,018	19,503	3,515
手数料	108,130	106,596	1,534
賃借料	582,060	576,720	5,340
使用料		2,900	△ 2,900
負担金	26,300	26,300	0
租税公課	514,982	589,282	△ 74,300
(管)退職給付引当金繰入額	238,322	527,320	△ 288,998
管理費計	11,336,089	15,130,948	△ 3,794,859
経常費用計	345,075,435	357,984,438	△ 12,909,003
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,303,693	△ 9,290,692	1,986,999
当期経常増減額	△ 7,303,693	△ 9,290,692	1,986,999
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,303,693	△ 9,290,692	1,986,999
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,374,693	△ 9,361,692	1,986,999
一般正味財産期首残高	33,181,865	42,543,557	△ 9,361,692
一般正味財産期末残高	25,807,172	33,181,865	△ 7,374,693
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	12,027	245,019	△ 232,992
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	12,027	245,019	△ 232,992
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	125,807,172	133,181,865	△ 7,374,693